



三菱電機パッケージエアコン別売部品 形名 PAC-SL26DM
PAC-SL27DM ※据付け前に本説明書と室内ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

天吊Kタイプドレンアップメカ据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方などを説明してください。また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

- お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付工事に不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付(移設)工事・電気工事をする前に



注意

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。

- 不完全な断熱施工を行うと配管など表面が結露して、露たれなどが発生し、床・その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は気密試験後に行ってください。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように断熱処理すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、床・その他家財などを濡らす原因になります。

1. 付属部品のご確認 ※下記部品が付属されておりますので、取付け前に確認ください。

①ドレンアップメカ ×1	②アタッチメント ①ドレンアップメカ 取付用金具 ×1	③ネジ (4×10) ①ドレンアップメカ 取付用 ×6	④VP-20管 ×1	⑤パイプカバー ④VP-20管 断熱用 ×1	⑥フレキシブルホース 断熱材付 ×1	⑦ファスナー ×1	⑧L字管(ガス管) ×1	⑨L字管(液管) ×1	⑩断熱材A 6t×220×110 (内側巻付用) ⑧⑨L字管と現地 配管断熱用 ×1	⑪断熱材B 3t×250×150 (外側巻付用) ⑧⑨L字管と現地 配管断熱用 ×2
-----------------	-----------------------------------	-----------------------------------	---------------	------------------------------	-----------------------	--------------	-----------------	----------------	--	--

2. ドレンアップメカ取付け状態図

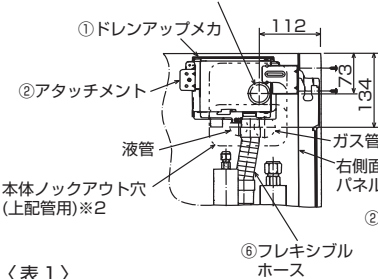
単位 (mm)

- ※1 揚程が高く、付属VP-20管④、パイプカバー⑤の長さが不足する場合は、現地に手配してください。
- ※2 開口部はパテ等で埋めてください。

- ・このドレンアップメカは、室内ユニット内部に取付けて使用するものです。
- ・ドレンアップメカ取付けにより、ドレン配管・冷媒配管共に上側の取出しとなります。
- ・ドレンアップメカ取付けは、室内ユニットを吊り込む前に行う方が容易にできます。

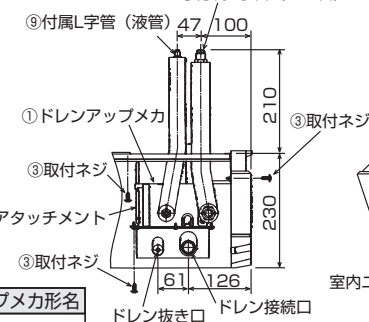
天面カラ見ル

ドレン吐出口
(VP-20対応)



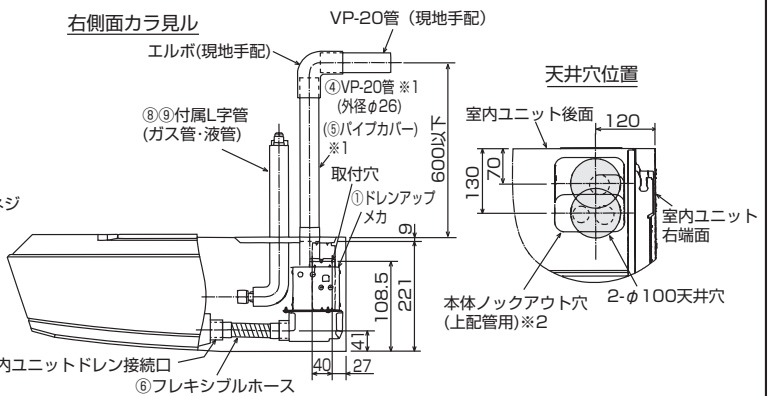
正面カラ見ル

⑧付属L字管 (ガス管)

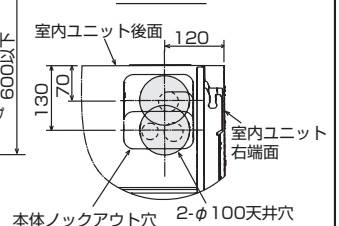


右側面カラ見ル

エルボ(現地手配)



天井穴位置



〈表1〉

	ガス管	液管	ドレンアップメカ形名
45,56形	φ12.7	φ6.35	PAC-SL26DM
71~160形	φ15.88	φ9.52	PAC-SL27DM

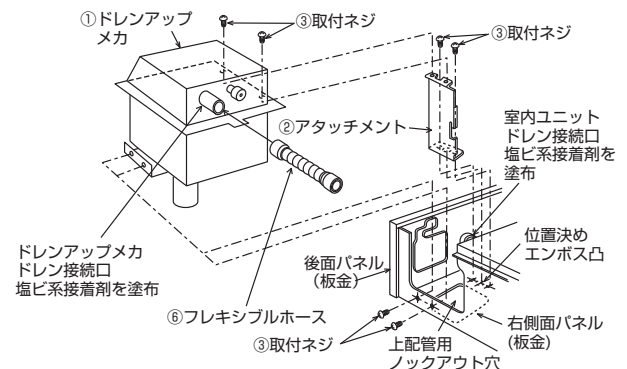
3. ドレンアップメカ取付け

※ドレンアップメカへのフレキシブルホースの取付けはドレンアップメカを室内ユニットに取り付ける前に行ってください

1. 吸込グリルとサイドパネルをとりはずす(室内ユニットの据付工事説明書を参照)
2. 室内ユニットの上配管用ノックアウト穴を開ける
3. 付属アタッチメント②を取付ネジ③(2本)で固定
4. ドレンアップメカ①のドレン接続口に塩ビ系接着剤を塗布して、付属フレキシブルホース⑥を根元まで差し込む
5. 室内ユニットのドレン接続口に塩ビ系接着剤を塗布して、フレキシブルホース⑥をねじれないように差し込みながら、ドレンアップメカ①を組み込む
6. ドレンアップメカ①を取付ネジ③(4本)で固定

お願い

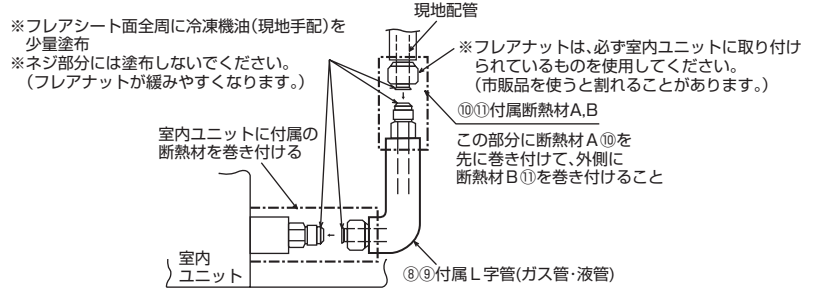
後面パネル(板金)を押さないように作業してください。
後面パネル(板金)が変形するおそれがあります。



4.冷媒配管工事

*配管手順詳細は、室内ユニット、室外ユニット、別売ねじ接続継手の据付工事説明書を参照してください。

1. 室内ユニットのフレアナット及びキャップをとりはずす
2. フレアシート面に冷凍機油(現地手配)を塗布する
3. 付属のL字管(ガス管、液管)⑧⑨を接続する
4. 現地配管に室内ユニットからとりはずしたフレアナットをはめてフレア加工する
*ビル用マルチエアコンでR32冷媒を使用して、現地配管との接続部が室内に露出する場合は別売ねじ接続継手の使用が必要です。詳細は「ビル用マルチエアコンの施工/サービスマニュアル(R32冷媒対応)」を参照してください。
5. 現地配管と付属L字管を接続する
6. 各接続部に断熱材を巻き付ける



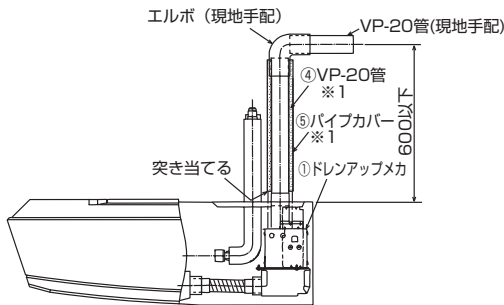
5.ドレン配管工事

*配管手順詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照ください。

1. 付属VP-20管④をドレンアップメカ①のドレン吐出口に塩ビ系接着剤を塗布して差し込む(差し込み代30mm)※1
 2. 付属VP-20管④と現地ドレン配管を90°エルボなどを使用し接着固定する
 3. 付属パイプカバー⑤をVP-20管④に巻く※1
- *ドレンアップメカ立ち上げから外部に至る横引きの間で、ドレン配管は全て十分な断熱を施してください。

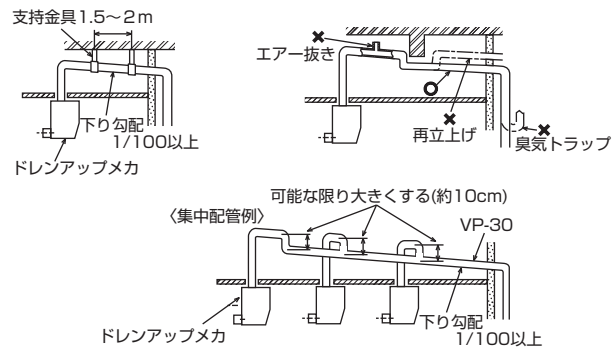
右側面カラ見ル

※1 揚程が高く、付属VP-20管④、パイプカバー⑤の長さが不足する場合は、現地にて手配してください。



【ドレン配管工事は下記項目を厳守してください】

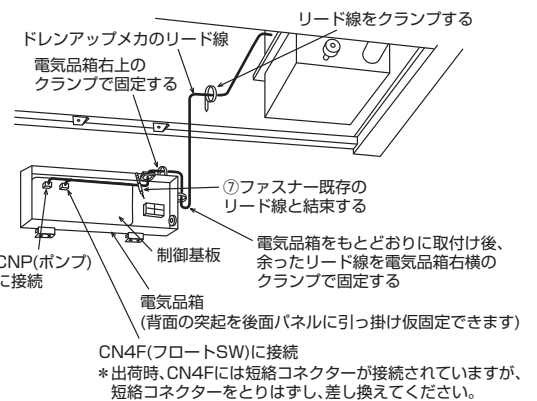
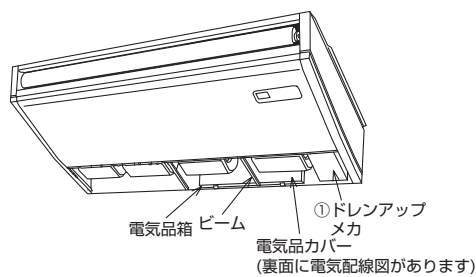
- ・ドレン揚程は、600mm以下としてください。
- ・排水側(室外側)が下り勾配(1/100以上)としてください。
- ・途中にトラップや山越えを作らないでください。
- ・横引きは、20m以下にしてください。また、途中に支持金具などを設けて波打ちを無くしてください。
- ・エア抜き管は、絶対につけないでください。ドレンが吹き出るおそれがあります。
- ・硬質塩ビパイプ一般管VP-20(外径φ26)を使用し、接続部は塩ビ系接着剤を塗布して漏れないようにしてください。
- ・市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03/肉厚10mm以上※)を巻いてください。最上階又は高温多湿の条件下で使用する場合は、上記の厚さ以上にする必要があります。
- ・排水口部の臭気トラップは設けないでください。
- ・配管の出口は、臭気の発生するおそれのない場所としてください。
- ・配管は、硫黄系ガスの発生する下水溝に入れないでください。
- ・集合配管はVP-30程度としてください。また、ドレンアップメカから立上げた配管の出口部より約10cm低い位置に集合配管がくるように施工してください。



6.電気配線工事

*室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照ください。
*電源がOFFであることを確認して作業してください。

1. ビームをとりはずす
2. 電気品カバーをとりはずす
3. 電気品箱を下に引き降ろす
4. ドレンアップメカ①のリード線を、室内ユニット制御基板のCNP,CN4Fコネクタに接続する
5. 電気品箱内でリード線がばらつかないように付属のファスナー⑦で結束する
6. 電気配線工事が完了したら電気品箱、カバー、ビームなどをもとどおりに取り付ける



CN4F(フロートSW)に接続
*出荷時、CN4Fには短絡コネクタが接続されていますが、短絡コネクタをとりはずし、差し換えてください。

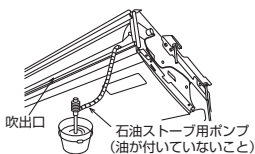
*機種シリーズにより制御基板に接続するコネクタの位置が上図と異なる場合がありますが、確実に、CNP,CN4Fコネクタに接続してください。

7.試運転

*試運転により排水が確実にこなわれていること・各接続部からの水漏れのないことを確認してください。

*室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照してください。

1. 注水作業
吹出口よりドレンパンに約1リットル注水する



2. 試運転
室内ユニット据付工事説明書の試運転の項目に従って冷房運転を行い排水、並びに漏水のないことを確認してください。

3. 確認後、部品をもとどおりに取り付ける
*暖房シーズンにドレンアップメカを取り付けた場合は、必ずドレン抜きを行なってください。
また、ドレン抜き完了後はドレンプラグをもとどおりに差し込んでください。

